

## 6年1組「光をともした『魔法の薬』」 内容項目 - 真理の探究

### 【あらすじ】

微生物の研究に取り組み、ノーベル医学生理学賞を受賞した大村さんは、人間の健康に役立つ抗生物質を開発するために、失敗してもなおチャレンジを続けた。

大村さんの治療薬で克服できた子どもたち



### 【授業から】

大村智さんが2年前に東小学校で講演をしてくださったことで児童の関心も高まっていました。『探究する意欲』という主題名のもと、中学校進学を控える6年生にとっては今後活かすことのできる教材でした。大村さんの考え方や生き方で心を動かされたところを聞くと、人のためになろうとしたところ、たくさん失敗してもあきらめなかったところ、挑戦し続ける姿、研究熱心で自分に厳しいところなどたくさんの意見が出ました。また、「とにかく科学者は人のためにならなきゃだめだ」「人のまねをするとそこで終わり。こえることはできない」「成功した人は、人よりも倍も三倍も失敗している」などの大村さんの人生訓がにじみ出た言葉についても考えました。この言葉から子どもたちは、ありのままの自分をさらけ出し、今の生活を見直すだけでなく、お互いに考え合い、どこを改善すべきかを真摯に考え合うことができました。

### 【今後の生活の工夫点や改善点は？】

- ・あきらめずに何事にも挑戦したい。難しいことにも努力し続けていきたい。
- ・人のために役立つことをしたい。また、人に優しく信頼される人になりたい。
- ・楽な方に甘えず、自ら進んで厳しい道を歩む。
- ・今よりもっと一生懸命に勉強していきたい。
- ・自分のことだけではなく、家族や周りの人のことも考えて行動したい。



大村さんの生き方・考え方から学ぼう

## 6年2組「ブランコ乗りとピエロ」 内容項目 - 相互理解, 寛容

### 【あらすじ】

サーカス団で人気を集める、ブランコ乗りのサムと曲芸師のピエロ。自分だけ目立とうとしてルールを守らないサムに対し、ピエロは怒らずサムの演技を認めた。その結果、二人とも自分だけがスターだという気持ちを捨て、打ち解けることができた。

なぜピエロはサムを認めたのだろう？

### 【授業から】

「友達や家族との付き合いの中で「自分が正しくて相手が悪い」と思った経験ある？」と聞くと、ほとんどの子が手を挙げました。教材のサムとピエロもそれぞれ自分が正しいと思っていますが、「なぜピエロはサムを認めたのか？そのときサムはどう感じたのか？」ということについて考え、周りの友達と話し合いました。そこから、「自分は正しい」と「自分だけが正しい」の違いに気づき、相手を受け入れ認めるということについて考えを深めました。最後に、自分と考え方の違う人とつきあう際に大切にしたいことを考え、お互いに意見を交流し合いました。



### 【学習感想】

- ・自分の意見だけをおし通さずに、相手の意見もよく聞きたい。
- ・相手への思いやりをもつことが、色々な人と関わっていく上で大切だ。
- ・自己中心的でなく、相手の気持ちに寄りそって考えるようにしたい。
- ・違う意見も聞き入れて、折り合いをつけながら関わっていききたい。



順番に意見を発表し、交流しました